



# Hand in Hand 21 Plus

ハンド・イン・ハンド 21 プラス

名取市男女共同参画情報紙

プラス1号(創刊号) 2004年5月



## 情報紙発刊にあたって

**ハンド・イン・ハンド 21 プラスは、名取市男女共同参画推進委員会の手づくり情報紙です**

名取市では、平成14年3月に「名取市男女共同参画計画・Hand in Hand21」を策定いたしました。そして、男女共同参画社会の実現のための施策を推進するために、平成15年4月に「名取市男女共同参画推進委員会」が発足しました。

この推進委員会は、現在男女共同参画社会の実現に向けて活動しておりますが、活動のひとつとして、手づくりの情報紙を発行することになりました。情報紙の発行については、2ヶ月に1回の発行を目指します。

男女共同参画って何？ 男女平等のこと？ 私たちの生活と関係があるの？ 推進委員会はどのようなことをしているの？ などなど男女共同参画についてわかりやすい情報を載せていきたいと思えます。

## ハンド・イン・ハンド 21 プラスの名前について

情報紙の名前は、すでに策定された計画書「ハンド・イン・ハンド 21」に、男女共同参画のいろいろな情報を「**プラス**」して市民の皆様に提供する意味から「**ハンド・イン・ハンド 21 プラス**」と名づけました。

(ハンド・イン・ハンドには、「手に手を取って」「協力して」「相伴って」という意味があります。)

新しい情報だけでなく、これまでの活動や「ハンド・イン・ハンド 21」の内容もご紹介していきたいと思えます。



インタビューに答える藤井禎子相互台公民館長  
出身地 石巻市 趣味 旅行 星座 水瓶座

今の時代は、「男だから」「女だから」と性別にこだわる時代ではないと思う。むしろ、個性を伸ばし発揮する時代だと思う。  
男女共同参画情報紙創刊号には、女性初の公民館長の活動と地域住民への橋渡しをどのように展開しようと考えているのかなどを伺わせていただきました。  
ここに、インタビュー内容の一部を紹介します。

Q) 館長になられて何年になりますか？

A) 平成15年4月からで、まだ1年目ですが開かれた公民館をめざし頑張っております。

Q) 女性の館長だから、これだけは大変だというようなことはありましたか？

A) 今のところ何もありません。私自身女性だからという意識は全くないんです。むしろ毎日が新鮮で楽しいですね。

Q) 館長になって「よかったなあ」と思う時は？

A) 地域の方が事務室をのぞき、「館長さん今日はいたのね！」と気軽に声をかけてくれます。こんなとき、とてもうれしいし、館長になってよかったと思う瞬間ですね。長年自治会長をしていたおかげで、住民の顔はほとんどわかります。この地区は、自治会の結束が固いし、何かとまとまっていると思います。

Q) 今まで、どんなお仕事をされてきましたか？

A) 幼稚園の教諭を6年間していました。また、調理師免許も持っているので、最近まで、息子の経営しているデイサービスで、調理の方を手伝ったりしていました。おやつを始め、すべて手づくりなので、利用者からは「食事がたのしみ、おいしい」とほめられていました。

Q) 男女共同参画社会に向け、現代の女性に一言お話しするとすれば？

A) 家庭を持っている方は、まず家庭を大事にしてほしい。家庭が充実していれば、何事もうまくいくし、どんな難関も必ず乗り越えられると思います。そして、もし役員等に選ばれるような事があれば、まず受けてほしいと思います。そこから自分への挑戦が始まるし、別の世界が広がります。「男だから」「女だから」と性別にこだわることなく、個性を伸ばし発揮してほしいですね。

《 編集スタッフ 》

名取市男女共同参画推進委員会 広報啓発部  
泉 勝・相澤喜美・洞口ミツヨ  
小林和子・鈴木英夫・洞口のり子  
〒981-1292 名取市総務部 企画課 女性市民参画係  
384-2111 (内線 336) FAX 384-9030



インタビュー風景